

次期「静岡県文化振興基本計画」の策定

(スポーツ・文化観光部文化政策課)

1 要 旨

令和4年3月に策定した「静岡県文化振興基本計画」が、本年度、最終年度を迎えることから、本県の文化を巡る環境の変化等を踏まえ、新しい文化振興基本計画を策定する。

2 次期計画の概要 ※別添資料参照

区分	内 容														
計画期間	4年間（令和7（2025）年度～令和10（2028）年度）※総合計画と同様														
現 計 画 の 評 価	○東アジア文化都市を通じた民間国際交流 ○県芸術祭・障害者芸術祭の一体的開催 ○清水南高校における演劇専攻の設置 ○アーツカウンシルによる企業との連携 ○文化財三次元データ化の促進	文化を取り巻く環境の変化	○人口減少、少子・高齢化 ○ウェルビーイングの重視 ○デジタル技術の進展 ○インバウンドの増加												
改 定 の 方 向 性	○本県独自の文化芸術の充実と、世界に向けた発信の強化 ○県民自らの文化芸術活動の促進を通じた、文化による地域社会の活性化 ○産業、観光、福祉等と文化芸術の協働を促進、多分野への文化的創造性の拡大 ○デジタル等の活用による文化芸術に触れる機会の充実、アウトリーチの推進 ○アーティストの活動領域の拡大など、持続的な活動の促進														
施 策 体 系	<p>＜基本目標＞ 一人ひとりが創造性を發揮し、つながり、生み出す ウェルビーイング社会の実現 ～文化が起点となり、イノベーションを創出する好循環の形成～</p> <table border="1"><thead><tr><th>重点施策</th><th>核となる具体的取組</th></tr></thead><tbody><tr><td>①世界に輝くしづおかの文化芸術の創造</td><td>・世界遺産「富士山」の文化的価値の発信 ・S P A Cによる世界的な活動の推進</td></tr><tr><td>②県民による創造的な活動の活性化</td><td>・県芸術祭の開催 ・アーツカウンシルによる多様な人々の創造活動の活性化</td></tr><tr><td>③多分野との連携によるイノベーションの基盤づくり</td><td>・産業、観光、福祉、教育等との連携 ・地域文化ネットワークの形成</td></tr><tr><td>④文化芸術に触れる機会の充実</td><td>・こどもたちへの鑑賞機会の提供 ・デジタルアーカイブの活用</td></tr><tr><td>⑤文化芸術を支える環境づくり</td><td>・文化に関わる担い手等のネットワーク化 ・アーティストが活動を続ける環境づくり</td></tr></tbody></table>			重点施策	核となる具体的取組	①世界に輝くしづおかの文化芸術の創造	・世界遺産「富士山」の文化的価値の発信 ・S P A Cによる世界的な活動の推進	②県民による創造的な活動の活性化	・県芸術祭の開催 ・アーツカウンシルによる多様な人々の創造活動の活性化	③多分野との連携によるイノベーションの基盤づくり	・産業、観光、福祉、教育等との連携 ・地域文化ネットワークの形成	④文化芸術に触れる機会の充実	・こどもたちへの鑑賞機会の提供 ・デジタルアーカイブの活用	⑤文化芸術を支える環境づくり	・文化に関わる担い手等のネットワーク化 ・アーティストが活動を続ける環境づくり
重点施策	核となる具体的取組														
①世界に輝くしづおかの文化芸術の創造	・世界遺産「富士山」の文化的価値の発信 ・S P A Cによる世界的な活動の推進														
②県民による創造的な活動の活性化	・県芸術祭の開催 ・アーツカウンシルによる多様な人々の創造活動の活性化														
③多分野との連携によるイノベーションの基盤づくり	・産業、観光、福祉、教育等との連携 ・地域文化ネットワークの形成														
④文化芸術に触れる機会の充実	・こどもたちへの鑑賞機会の提供 ・デジタルアーカイブの活用														
⑤文化芸術を支える環境づくり	・文化に関わる担い手等のネットワーク化 ・アーティストが活動を続ける環境づくり														

3 今後の予定

時 期	内 容
令和7年12月	パブリックコメント、教育委員会定例会、12月議会常任委員会での審議
令和8年 2月	審議会開催（意見等反映結果の報告）
3月	2月議会常任委員会（最終案報告）・公表